

SINK INSTRUCTION

1 HOLE シンク 取扱説明書

ご使用になる前に本説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
お読みになりました後は必ず保管してください。

⚠ 注意

- ・水道工事（配管含む）は有資格者が行ってください。
- ・人身傷害の危険があります。
- ・不注意に取り扱うと、製品が破損、割れ、欠け、怪我をする可能性があります。
- ・シンクを持ち上げる際は手助けを借り、周囲に十分ご注意ください。
- ・割れの原因となりますのでネジを締めすぎないでください。

安全のために：

給水、排水管、トラップを予め検査をお願いします。
ご自身で確認できない場合は、専門業者に現場調査を依頼することをおすすめします。
シンクの取り付けには付属の取り付けハンガー部品を使用してください。

作業前の準備

作業を始める前に、必ず電気と水道を止め、洗面台に接続されている全ての配管と配線を外します。配管をやり直したり、新しく配線を引いたり、コンセントの位置を変更する場合は、必ず資格を持った専門業者に依頼してください。

Greenwich Wall-Mount Bathroom Sink 洗面器（K-2030 / K-2031）について

本製品はジャパンコーラー正規代理店購入の保証書（サティフィケーションカード）が付属いたします。
ご購入日証明のため、ご購入時のレシートまたは、オンラインショップご注文確認メールをご一緒に保存していただけますようお願いいたします。
保証期間内に保証書記載内容にて故障が生じた場合、弊社またはジャパンコーラーまでご相談ください。

保証期間：
サティフィケーションカード発行時より3年間

保証対象商品：
サティフィケーションカードが発行された商品で一般家庭でご使用の場合

保証内容・保証対象外・免責事項については保証書記載内容をご確認ください。

重要

THE BOLD LOOK
OF KOHLER.
Japan Kohler Original Warranty

保証書在中
※施主様へ必ずお渡し下さい

THE BOLD LOOK
OF KOHLER

※洗面器のパッケージに上記イメージの保証書が付属しています

湯水混合水栓について

使用条件

1. 給水、給湯圧力は以下の条件を守ってください。
(1) ガス瞬間湯沸器との組み合わせ

・最低給水圧

湯沸器号数	8号	10号	13号	13x1/2号
最低給水圧 (MPa)	0.12	0.16	0.19	0.08

<測定条件>

※湯沸器との組み合わせ条件が最も悪い夏季条件（給水温度25℃、吐水温度42℃）によるものです。

※給水圧力は湯沸器直前における流動時の静水圧です。

※湯沸器は次の設定です。ガス：全開、温度：高温

・最高給水圧・・・0.75MPa

(2) 貯湯式温水器との組み合わせ

・最低給水、給湯圧・・・0.05MPa

・最高給水、給湯圧・・・0.75MPa

※0.5kgf/cm²以下で使用されますと十分な吐水量が得られません。

2. 給湯に蒸気は使用できません。

3. 給水、給湯を逆に配管しないでください。

既設の立水栓を交換する場合

すでに取り付けられている湯と水の立水栓を取り外します。

(1) 止水栓を閉めます

(2) 止水栓を残して立水栓とサプライ管を取り外してください。立水栓の取り外しには立水栓用L形レンチを利用してください。

お手入れ

メッキされた水栓がいつまでも美しい光沢を失わないよう常日頃からお手入れを行うようにしてください。

1. 普段は柔らかい布で磨き、ときにはミシン油などを染み込ませた布で拭いてください。

2. クレンザー、みがき砂などの洗剤は表面を傷つけるので使用しないでください。

3. タイルなどを酸洗した場合はタイルおよび器具を十分水洗いしてください

水がでない時の処置

1. 止水栓が開いているか確認してください。閉じていたら適正な流量が得られるよう開いてください。

2. ソケット本体のチャッキ弁が動いているか確認してください。ソケット本体を取り外し、棒のようなものでチャッキ弁を押し動かすのを確かめてください。（寒冷地を除く）

注意

1. パイプには地域によって保温材やヒーターを巻いてください。

2. 取り付ける洗面器によっては立ち型水石鹸入れを取り付ける水栓のハンドルが操作しにくい場合がありますのでご注意ください。

3. 本体の左側は高温になりますので直接肌を触れないようご注意ください。

4. 寒冷地でご使用の際に止水栓は必ずLF-3HNを使用してください。その時止水栓の向きはソケットが真上を向くように心がけてください。

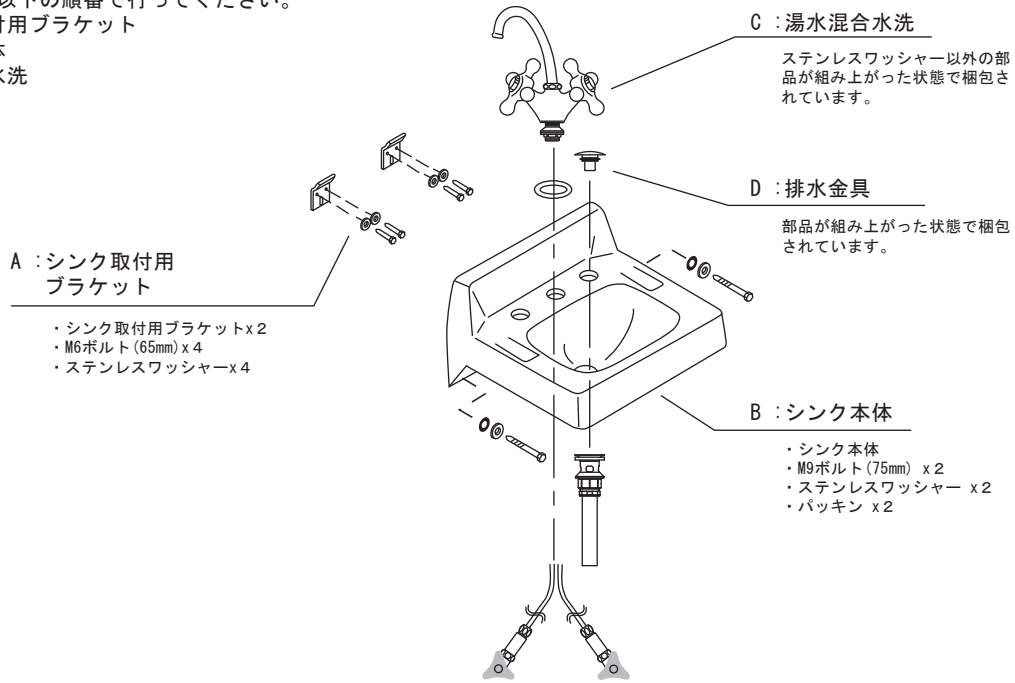
PFS PARTS CENTER®

1-17-5 Ebisuminami Shibuya-Ku Tokyo
phone) 03-3719-8935 fax) 03-3719-0994

このセットの内容物

取り付けは以下の順番で行ってください。

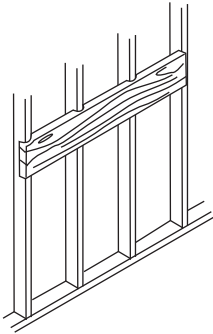
- A シンク取付用ブラケット
- B シンク本体
- C 湯水混合水洗
- D 排水金具



A: シンク取付用ブラケットの設置

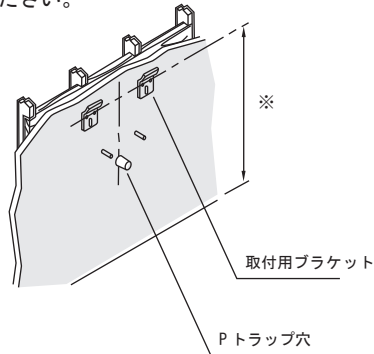
1

取り付け壁の背面に適切な補強を準備します。



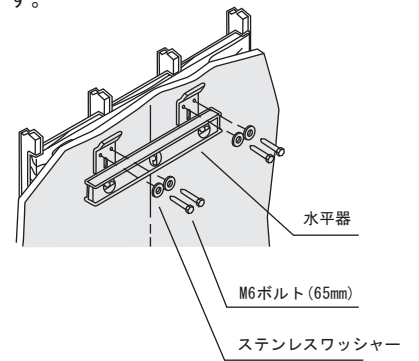
2

取付用ブラケットの配置と配管の位置については、本書のサイズ図を参照してください。



3

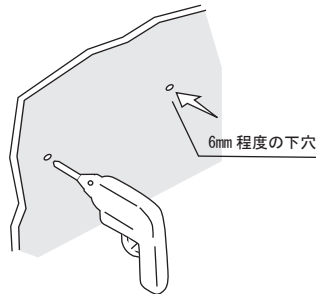
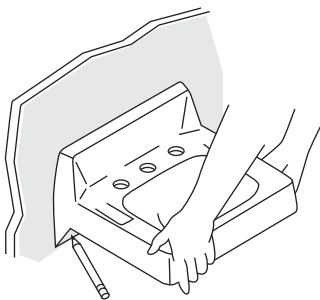
M6 ボルトとワッシャーで取付用ハンガーを水平にしてしっかりと固定します。



B: シンク本体の設置

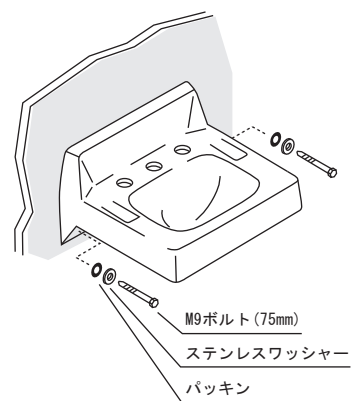
4

シンクを配置し、取り付け穴に印を付けます。シンクを取り外し、印に6mm程度の下穴を開けます。



5

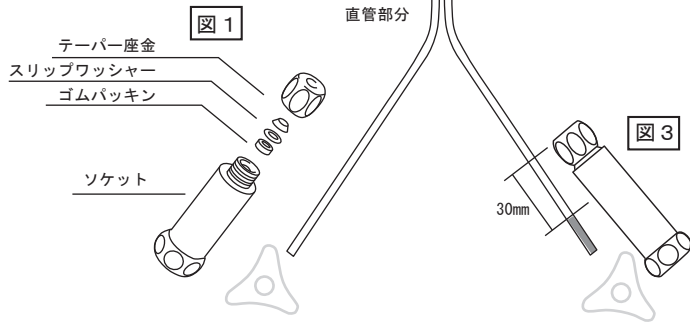
シンクを配置して水平にします。M9 ボルトとワッシャー、パッキンでシンクを固定します。



C: 湯水混合水洗の設置

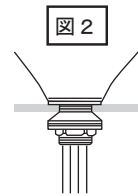
6

止水栓、パイプ、ソケットのゴミ、砂等を完全に洗い流してください。(ソケットのテーパース座金、スリップワッシャー、ゴムパッキンを無くさないように注意して洗ってください(図1))



7

別梱のステンレスワッシャーを胴下パッキンの上に通し、シンク本体の水洗取付穴に社名標示を前面に向けて水栓を仮固定します。(図2)



8

止水栓を水洗に向くように倒し、ソケットを仮固定して給水パイプ、給湯パイプをソケットまで広げます。この時ソケットに入る部分は直管にしてください。(図3)(注・パイプを広げる時には排水管に当たらないようにしてください。)

ソケットの差し込みうる約30mmを残して、余ったパイプをパイプカッターで切断します。切断後、必ずパイプの切り粉をきれいに取り除いてください。

図3

9

給水・給湯管に袋ナット、テーパース座金、スリップワッシャー、ゴムパッキンをはめ込み後ソケットに差し込み、ソケットを止水栓に固定します。(図4)

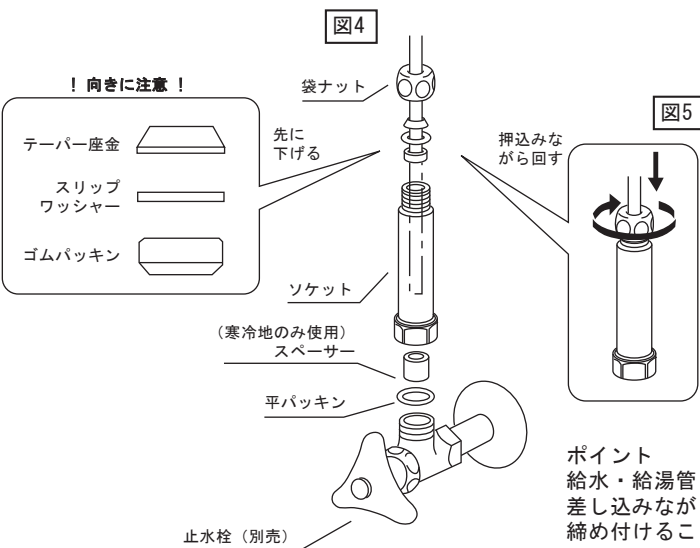
注意:ソケットの中に平パッキンがあることを確認してください。平パッキンが入っていないと漏水します。

10

水栓を本固定します。
※寒冷地でのご使用の際にはスペーサーをソケットに入れてください。

11

テーパース座金、スリップワッシャー、ゴムパッキンをソケット側に下げた後、袋ナットを締め付け、給水、給湯管をソケットに固定します。(図5)

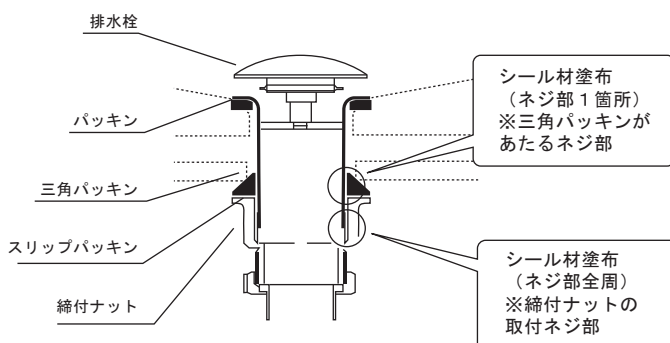


D: 排水金具の設置

12

排水金具取付の際は、漏水を防止するため、必ず指定位置にシリコンコーキング等のシール材(防カビタイプ)を塗布してください。

締め付けナットは器の破損を防止するため、ゴムパッキンの弾性を失わない程度に締め付けてください。



通水確認

13

パイプやソケットが確実に接続されたことを確認し、止水栓を開けます。

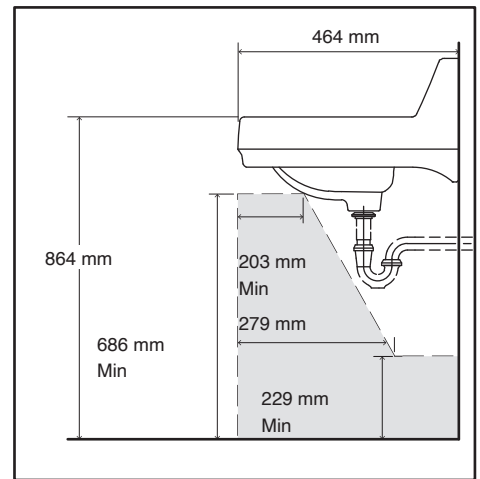
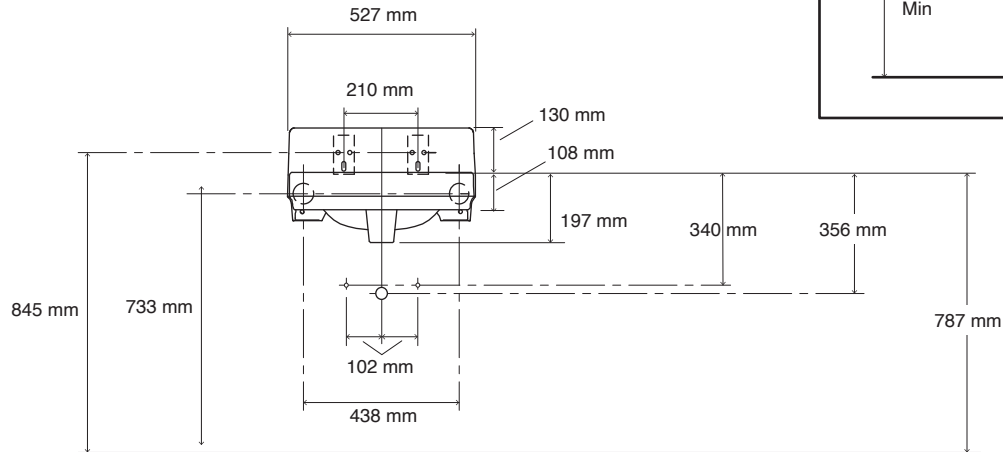
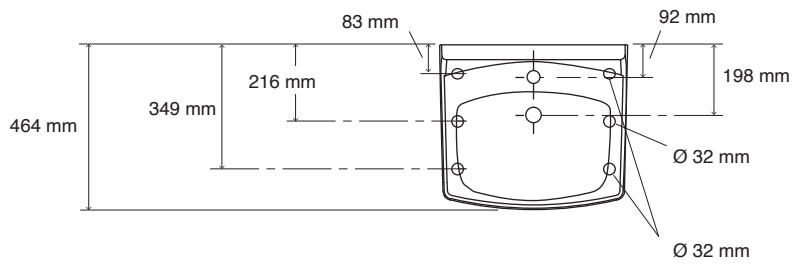
ハンドルを開き、各接続部からの漏水がないかを確認してください。

適正な流量が得られるよう止水栓で調整してください。

排水金具の排水栓中央を押すたびに「閉じる」と「開く」が交互に繰り返すかご確認ください。

器に水をためてから排水し、各部から水漏れがないか確認をします。水漏れが発見された場合はその箇所を施工し直してください。

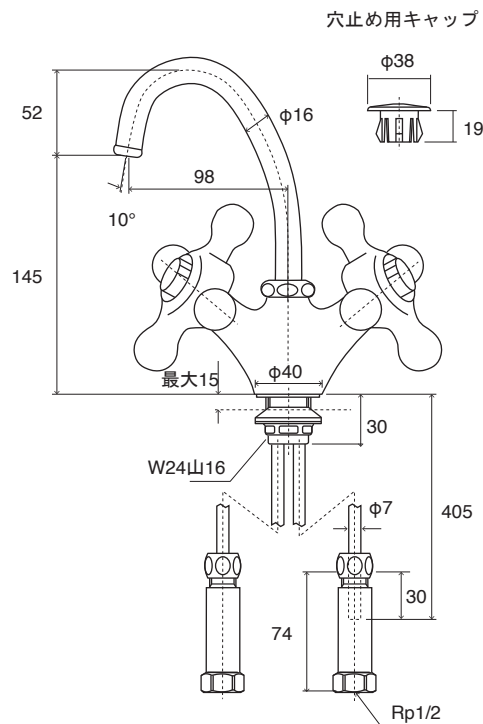
シンク本体・サイズ図



※トラップ管と止水栓は付属していませんので、下記サイズに適応する物をご用意下さい。

湯水混合水洗・サイズ図

カウンター穴あけ寸法は、 $\phi 27 \pm 2$ で行ってください



排水金具・サイズ図

トラップ管: 排水金具接続管サイズ $\phi 32$ W40 山16
止水栓: サプライ管ソケット規格 Rp1/2

